

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課: 街路交通施設課

担当課長名: 青柳 太

事業名	地域高規格道路ICアクセス道路 東京都市計画道路 補助第96号線		事業区分	街路	事業主体	東京都
起終点	自: 東京都中央区日本橋本石町 至: 東京都中央区八重洲				延長	0.3km
事業概要						
<p>本路線は、千代田区一ツ橋二丁目を起点とし、中央区八重洲二丁目に至る延長約2.7kmの都心部のネットワークを形成する主要な幹線道路であるとともに、国家戦略特区の都市再生プロジェクトなど都市再生の取組が行われている八重洲・日本橋周辺から、首都高速道路都心環状線の神田橋出入口及び首都高速道路八重洲線の八重洲出入口までを結ぶ1次アクセス道路として、健全な市街地の発展を支える重要な路線である。当該区間の整備により、交通の円滑化と交差点の安全性の向上、インターチェンジアクセス性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、周辺地域の回遊性と交流機能の向上が図られる。</p>						
R1年度事業化		S21年度都市計画決定 (R1年度変更)		R2年度用地着手		R3年度工事着手
全体事業費		約367億円		事業進捗率		約8%
計画交通量		36,000台/日		供用済延長		— km
費用対効果分析	B/C	1.2	EIRR	(事業全体)		基準年
	(事業全体)		(事業全体)	255 / 285億円		
	1.2		1.2	(事業費: 253/283億円 維持管理費: 1.8/ 1.8億円)		令和6年
	(参考) 2.0 [2%]					
	(参考) 2.7 [1%]					
感度分析	(残事業)		(残事業)			
	1.3		1.3			
	(参考) 2.2 [2%]					
	(参考) 2.9 [1%]					
事業の効果等						
<p>神田橋出入口へのアクセス道路である補助第96号線は、周辺で行われている国家戦略特区の都市再生プロジェクト等や首都高地下化に伴う周辺出入口の廃止による交通量増加が見込まれる。また、常盤橋交差点付近が道路線形不良箇所となっている。</p> <p>このため、道路拡幅と車線数の増加により、アクセス性向上、交通の円滑化、快適な歩行空間の確保及び周辺地域の回遊性交流機能向上が図られるとともに、線形の改良により、交差点の安全性向上が図られる。</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
特になし						
事業評価監視委員会の意見						
事業の継続を了承する。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
本区間の周辺では、首都高速道路日本橋区間地下化事業及び多数の再開発事業が行われている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地取得率約15%、事業進捗率約8%						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、街路築造工事等を推進していく。						
施設の構造や工法の変更等						
建設発生土の再利用や再生材の使用等によるコスト縮減に引き続き努めながら事業を推進していく。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由						
以上の事業の効果及び進捗状況、事業評価委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。						

